

長崎県東京産業支援センター指定管理者の候補者決定について

1. 指定管理者候補者

「株式会社コンベンションリンケージ」

代表取締役 平位 博昭（東京都千代田区三番町2番地）

2. 選定経過

(1) 募集期間 平成22年8月2日～9月3日

(2) 応募団体 3企業

(3) 選定方法

平成22年10月4日に、外部有識者4名、県1名の5名で構成する指定管理者選定委員会において、長崎県東京産業支援センターの管理運営方針や事業計画等について、審査を行った。

(4) 選定委員（5名）

金融機関、企業関係者（施設管理、入居企業OB）、支援機関、県

(5) 選定結果

（審査票及び採点基準は別紙「指定管理者候補者選定評価表」のとおり）

・(株)コンベンションリンケージ 333点 450点満点

・A団体 316点

・B団体 222点

(6) 選定理由

- ・複数の公の施設の指定管理者として、施設の管理運営業務に精通しており、これまでの長崎県東京産業支援センター等の運営実績や、会社の財務状況も良好であり、安定した管理運営と、経費縮減が見込める。
- ・長崎ビジネス支援プラザなどとの連携も含め、経営相談や情報発信など入居者への効果的な支援が期待できる。

(7) 議事要旨

別紙「選定委員会議事要旨」のとおり。

(8) 事業計画書

- ・株式会社コンベンションリンケージ事業計画書
長崎県産業労働部産業振興課において閲覧できます。

3. 今後のスケジュール

平成22年11月定例県議会に議案提出

（「公の施設の指定管理者の指定について」）

議決後、指定管理者として知事が指定

次期指定管理期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

4. 問い合わせ先

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

長崎県産業労働部産業振興課 地場企業支援班

TEL 095-895-2634 FAX 095-895-2579

E-mail: s05155@pref.nagasaki.lg.jp

指定管理者候補者選定評価表

委員氏名:

評価基準: 5段階評価(10点満点の項目は×2)

5.非常に優れている。 4.優れている。 3.良い。 2.劣っている。 1.非常に劣っている。

評価項目	評価観点	
1. 法人等に関する事項		15点
安定した管理運営	1. 経営的に安定しているか。	/ 10
	2. 同種の施設管理業務の実績があるか。	/ 5
2. 管理運営に関する事項		5点×12項目 = 60点
管理運営方針	1. 管理運営の考え方が、支援センターの設置目的に沿っているか。	/ 5
	2. 公の施設として、公平な管理運営が見込まれるか。	/ 5
	3. 自社の持つノウハウや業務実績などが管理運営方針に活かされているか。	/ 5
管理運営体制	1. 管理運営に必要な体制が考えられているか。	/ 5
	2. 適当な経歴、能力を持つ従事者の確保が可能であるか。	/ 5
	3. 休暇、退職等の際の従事者の補充体制は充分か。	/ 5
	4. 事故、緊急時の対応を考えているか。	/ 5
施設管理	1. 使用者のニーズに沿った施設管理の方法が考えられているか。	/ 5
	2. 施設の清掃や警備など、施設を管理するにあたり基本的な考え方、方法が考えられているか。	/ 5
	3. 支援センター及び附属設備の維持及び修繕の方法は、適切であるか。	/ 5
	4. 入居者の審査方法は妥当であるか。	/ 5
その他運営事項	1. 支援センターの設立目的に沿った、申請者の持つノウハウ等を活かした独自の入居者支援が考えられているか。	/ 5
3. 収支・予算に関する事項		15点
管理運営の効率性	1. 予算の範囲内で運営できるか。	/ 5
	2. 経費の縮減について工夫がなされているか。	/ 10
意見記入欄(書類審査、ヒアリングを通じて、各申請者に対するコメントがあれば記入してください。)		
合 計		/ 90

長崎県東京産業支援センター指定管理者選定委員会 議事要旨

【日 時】 平成22年10月4日(月) 13時30分～16時30分

【場 所】 出島交流会館 9階 展示交流室

1 開会

開会挨拶(長崎県産業振興課長)

2 各委員の紹介

3 選定基準の説明

4 委員長の選出

5 応募団体に対するヒアリング

(1) 応募団体によるプレゼンテーション

(2) 質疑応答

東京産業支援センターの管理運営体制、施設管理の方法、入居企業の審査方法、入居企業支援策、申請企業のバックアップ体制、管理経費の縮減策などについて質疑があった。

6 審議

(1) 採点及び得点集計

(2) 協議、候補者選定

【候補者】

株式会社コンベンションリンケージ

【選定理由】

- ・複数の公の施設の指定管理者として、施設の管理運営業務に精通しており、これまでの長崎県東京産業支援センター等の運営実績や、会社の財務状況も良好であり、安定した管理運営と、経費縮減が見込める。
- ・長崎ビジネス支援プラザなどとの連携も含め、経営相談や情報発信など入居者への効果的な支援が期待できる。

【意見】

- ・通常の施設は、施設の管理運営が中心であるが、当該施設は企業の入居施設であることを考えると、ハード面だけでなく、入居者のサポートなどソフト面も必要である。
- ・申請企業と協議のうえ、管理費削減に努めてもらいたい。

7 閉会

閉会挨拶(長崎県産業振興課長)